



Personal MBA

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

企業においては、企業の利益が唯一存在する。この厳しさが、企業の健全にするのである。

これらは正しい経営判断であり理解である。企業経営は利益を必達としてその最も厳しさが企業経営を可能とするためである。

これらは競争をルールとする技術と価格における市場判断が経営そのものである企業社会において、厳しさを失うことは企業がその未来を失うことなのである。

他方においてはその厳しさを有することが、グローバリズムという現実においてその先端性を有することができるのである。

これらは正しい企業原理である。また西洋の合理主義において効率性の追求は今日コンピュータシステムにおいてその完成を模索するのである。

これらが新しいグローバルスタンダードである。これが今日において企業の新しい必要性なのである。

これらが競争原理において世界のトッププレゼンスを形成し、MBA という原則においてより優れた企業経営をその論理形成とともに行うのである。

これがビジネスルールなのである。そしてそれらがグローバリズムの形成をビジネスという原則において実現するのである。

これらへの参加が唯一現実への参加であることはか、これらを否定することは不可能なのである。

これらがグローバル経済における統一基準であり、ビジネスルールなのである。

これら基準をクリアすることは、新しい未来への参加を与えることは正しいと判断できる。それらが最も優れた現実であるからである。